

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報

2019.9.25

No.360

東京・羽村平和委員会発行



自衛隊が米軍機からパラシュート降下、日米一体化の友好祭

横田基地日米友好祭は、9月14日(土)と15日(日)に開催され、横田基地の報道によると、2日間で14万人が入場したそうです。

今年は友好祭が始まる前から、米軍はやりたい放題で、CH-53E大型ヘリコプターは横田基地周辺を訓練場にして飛行し、F-16戦闘機は着陸時に基地周辺を急旋回しながら飛行、爆音を轟かせました。

友好祭当日は、横田基地所属の2機のC-130J-30輸送機から、陸上自衛隊第1空挺団の32人がパラシュート降下をするなど日米軍事一体化を見せつけました。

右の写真は15日のパラシュート降下の写真ですが、2機から、それぞれ16人が降下したのがわかります。

自衛隊が参加したことについて、撤去の会のAさんが、事前に自衛隊に問い合わせたところ自衛隊は「訓練ではなくセレモニー」「米軍からの依頼」と回答。Aさんは「事故が多発しているパラシュート降下を多数の人の頭上で行うことは納得できない」と、座り込み集会の中で発言しました。

パラシュート降下をした後、横田の輸送機は急旋回飛行を行い、米空軍の攻撃機A-10やF-16も展示飛行し、CV-22オスプレイも展示飛行し、UH-1Nもホイストなどの展示を行うなど、酷い友好祭でした。



CVオスプレイ、機関銃を展示

CVオスプレイは基地内で展示されていましたが、右の写真は、機関銃を前方に向けて展示していますね。

機関銃は、後方に向いている写真が多かったのですが、前方にも、銃口を向けることができるのですね。

横田基地で監視している方から、CVオスプレイは飛行しながら機関銃の向きを変えている、と聞いたことがあります。この写真で、こんなに自由自在に向きを変えることができるんだということを知りました。



天気にも恵まれ
元気に第126回座り込み
福生公園で2日間宣伝
次の10月20日は
フレンドシップパーク!

沖縄 米軍基地水源汚染考える

「ママたちの会」が勉強会

2019.9.22 東洋

沖縄県の米軍基地周辺の水源や水道水が有害な有機フッ素化合物で汚染されている問題で、「水の安全を求めるママたちの会」は那覇市内で19日、基地による環境汚染問題を追う英国人ジャーナリスト、ジョン・ミッチェル氏を招いて勉強会を開きました。

同氏は「基地の筆中は、汚染の真中を意味する」と書画を呈しました。

ミッチェル氏は、米軍が短伐消火剤として長年使用していたPFOS（ピーホス）等の有機フッ素化合物は、「永遠の化学物質」と呼ばれるほど環境・体内での残留性が強い（NASが指摘しました）。

地球でいちばんの環境破壊者
それは米軍である。

(ジョン・ミッチェル)

横田基地も例外ではない。

皆で学んでいきましょう。



同氏は、米軍では政府が同汚染問題について軍に調査を指示し、地方自治体も独自に調べ、「調査するほど、より多くの危険性が見つかった」と語り、水質の基準値・推奨値が徐々に厳しく設定されていることを紹介しました。

ドイツや韓国の米軍基地の汚染についての調査結果は公開されているにもかかわらず、米軍提供の県内の基地での調査結果を日本政府が公開しないことをミッチェル氏は批判。米軍の横田基地（東京都）や三沢基地（青森県）も有害物質の流出・汚染が過去に起きたことも示し、「日本では住民や旅行者、軍人・軍属の健康も守られない」と訴えました。

米国、297基地が汚染

米軍が長年使用していたPFOS(ピーホス)等の有機フッ素化合物が、ガンなどを引き起こすとして、エスパー国防長官は特別対策本部を立ち上げました。ピーホス被ばくによる健康影響及び軍の保健管理職員に対する教育、消火泡の代替品の(調査)追求など、5つの目標をもって前向きに対応しているとミリタリータイムスは、伝えています。



スノーデン氏の資料で明らかになった 日本の三つの監視基地

米国家安全保障局、通称NASは、通信諜報と通信防諜を専門としています。スノーデン氏の資料によって、日本の三つのNAS監視基地と日本の資金の流れが明らかになりました。日本の三つのNAS監視基地は、米空軍横田基地、米空軍三沢基地、米海兵隊キャンプ・ハンセンです。

スノーデン氏は、約2年間、横田基地に勤務していましたが、そこは国防省日本特別代表部であり、NAS日本代表部でした。スノーデン氏は、日本のお金で横田基地内に、アンテナ工場を建てたと言っています。そこでは、中東などの、罪のない村人が殺されるのが、リアルタイムで見せられていたのです。それが、堪えられなかったと彼は話しています。

沖縄県読谷村の米軍基地にはソウの檻と呼ばれる巨大アンテナがありましたが、米軍は日本政府にお金を出させて、最新鋭の通信施設を米海兵隊キャンプ・ハンセンにつくりました。

三沢基地も沖縄より巨大なソウの檻がありましたが、これも日本政府にお金を出させ、最新鋭の通信施設をつくったのです。

私たちの税金が、米国の戦争のために使われています。